公益財団法人 文字・活字文化推進機構

ニュースレター

第11号 2023年1月5日

ごあいさつ

公益財団法人　文字・活字文化推進機構　理事長　山口寿一

　あけましておめでとうございます。新しい年が良い一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

　2023年は、学校図書館法が施行されて70周年の節目の年に当たります。
　学校図書館法は、1953年に超党派の議員立法により作られました。学校図書館を対象とした法律は世界でも初めてのことで、当時、注目されました。日本は、学校図書館を制度化した点で先進国だったんですね。
　この3年前の1950年、教員有志の呼びかけで全国学校図書館協議会が結成され、約100万人（ 出典：公益社団法人　全国学校図書館協議会ウェブサイト）の署名を集めて、それが立法のきっかけとなりました。

　この法律のおかげで、公立私立を問わず、小・中・高校・中等教育学校・特別支援学校には学校図書館を設けることが義務づけられ、学校に図書館があるのは当たり前になりました。

　その後も充実が図られ、1997年の法改正で12学級以上の学校に司書教諭が必置となり、2014年の改正では、「学校司書」という用語が条文に明記されたうえ、司書の資質向上のための国や自治体の努力義務が定められました。

　多くの方の尽力があって学校図書館法は前進してきました。70周年を機に、当機構は、全国学校図書館協議会とともに、学校図書館の課題を見つめ直し、学校司書の地位向上や学校図書館の活用促進への取り組みを強化する方針です。

　2019年に施行された読書バリアフリー法は、学校図書館にも、点字図書や電子書籍等の充実、視覚障害者等の円滑な利用の支援を求めています。読書バリアフリーの普及に向けた学校図書館法の新たな改正も視野に入れて活動していきます。

　2023年はまた、ＩＣＴ教育が一段と進み、日本の公教育が重大な転機にさしかかる年でもあります。
　翌24年度には、小学５年から中学３年の英語にデジタル教科書が先行導入され、デジタル教科書の活用が本格化します。当機構は昨年、「活字の学びを考える懇談会」に参加した有識者の意見をまとめた冊子『いま、なぜ「紙」の教科書なのか』を作りました。

　紙中心の知識こそ重要なのではないか、教育の質を高めるのは紙の教科書とノートなのではないか――。有識者の方々の意見を手がかりに、紙の教科書とデジタル教科書のベストミックスを考える国民的な議論を起こしていきたいと考えています。

　当機構は昨年、青少年の読書推進活動として、国立青少年教育振興機構の親子向け事業や高校生ビブリオバトル東京都大会に協力したほか、活字文化の担い手を育てる人材育成事業として、山根基世さんの朗読指導者養成講座、絵本専門士や朗読指導者が活躍する機会を広げるためのＮＰＯ法人絵本文化推進協会の活動の支援などに力を入れました。

　今年も、当機構自ら先頭に立って政策提言をしたり、関係者や関係団体のつなぎ役を務めたりしながら、文字・活字文化の振興に資するさまざまな活動を行ってまいります。
　本年も、どうかよろしくお願い申し上げます。

【お知らせ】学校図書館法公布70周年記念事業

2023年は学校図書館法が公布されて70周年となります。いつも人がいて、読書や学習に役立つ資料が充分に整備された「子どもが主役」の学校図書館をつくるため、学校図書館をテーマにしたシンポジウムや記念事業を行ないます。

11月8日に「私たちは学校図書館を応援しています」のアピール賛同依頼を有識者に発送し、30名から賛同署名をいただきました。

学校図書館改革の政策立案に資する有識者ヒアリングについて、1回目は11月21日に川崎市教育委員会の教育担当指導主事・津藤信吾さんから「学校司書配置の教育効果」、筑波大学附属視覚特別支援学校教諭の宇野和博さんから「読書に障害のある子どもたちの読書環境の現状と読書バリアフリー法」について、2回目は12月5日に東京大学名誉教授の佐藤学さんから「GIGAスクール時代における学校図書館の役割」、専修大学教授の野口武悟さんから「読書バリアフリー法をふまえた障害者読書の可能性」をテーマにそれぞれ講演していただきました。

12月5日の運営委員会では、学校図書館シンポジウムや政策立案、今後の記念事業等について協議、担当者を軸に政策立案作業に入り、2023年の通常国会中に議連、関係省庁に手渡す予定です。

【報告】「学校図書館図書等の整備・拡充」と「教科書でのデジタルの最適化」を求める各界連絡会

12月7日に衆議院第一議員会館多目的ホールにて、「学校図書館図書等の整備・拡充」と「教科書での紙とデジタルの最適化」を求める各界連絡会を開催し、学校図書館議員連盟の塩谷立会長と活字文化議員連盟の上川陽子会長、両議員連盟の笠浩史事務局長ら約150人が参加しました。第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」（2,400億円）に基づいて図書や新聞の購入、学校司書の配置など学校図書館の充実がさらに進むよう国会議員や関係者に理解を求めました。教科書についてもデジタルに偏重せず、紙とのベストミックスが重要という認識を確認しました。活字の学びを考える懇談会関係者によるメッセージ冊子『いま、なぜ「紙」の教科書なのか』の紹介も行いました。

▲『いま、なぜ「紙」の教科書なのか』はこちらからご覧いただけます

【公開中】出版者・作者からみた読書バリアフリー

読書バリアフリーに関する出版業界の取り組みのご紹介と、今後の課題・対応等をテーマとしたオンラインセミナー「出版者・作者からみた読書バリアフリー」の動画（主催：経済産業省　後援：当機構）を当機構のYouTubeチャンネルで公開しています。ぜひご視聴ください。

▶動画はこちらから閲覧できます

【報告】読書活動推進事業全国4会場で開催中

読書活動と体験活動の重要さを伝える読書活動推進セミナーと、親子向け１泊２日イベントを全国４会場で開催中です。「ジオ教育」「森の環境教育」「文化多様性」「防災・減災教育」をテーマに絵本の魅力を伝える講座や絵本専門士によるワークショップを行なっています。

▶大雪青少年交流の家（北海道上川郡美瑛町）

講師：林信太郎さん（秋田大学大学院　特別教授）、絵本専門士ほか

①読書活動推進セミナー「絵本でジオ教育in大雪」

②絵本で体験！ジオパークの世界in大雪

十勝岳の成り立ちや特徴を学びながら、絵本や実験を通してジオパークの面白さを体感しました（一部、オンライン同時配信）。

▲林信太郎さんの実験

▶妙高青少年自然の家（新潟県妙高市）

講師：鈴木まもるさん（絵本作家）、絵本専門士ほか

①読書活動推進セミナー「絵本で森の環境教育in妙高」

②絵本の森で見て、作って、遊ぼうin妙高

「絵本と鳥の巣の不思議」と題した講演と鳥の巣作りワークショップを行ないました。

▲絵本専門士による研修

▶夜須高原青少年自然の家（福岡県朝倉郡筑前町）

講師：スギヤマカナヨさん（絵本作家）、絵本専門士ほか

①読書活動推進セミナー「絵本で世界を学ぶin夜須高原」

②絵本と一緒に世界一周in夜須高原　※積雪のため、宿泊型を日帰り型に変更して開催

「絵本でつなぐ世界の輪」をテーマにした講演、ワークショップを行ないました。

▲鈴木まもるさんによるワークショップ

▶淡路青少年交流の家（兵庫県南あわじ市）

講師：古賀涼子さん（絵本専門士）、金澤麻由子さん（絵本作家）ほか

①読書活動推進セミナー「絵本で防災教育in淡路」

「絵本を通して防災・減災を伝えること」をテーマにした対談、ワークショップを行ないました。

②絵本と体験の2日間！あそぼうさい・まなぼうさいin淡路」

2023年1月14日～15日に絵本と体験を通して親子で楽しみながら防災を学ぶプログラムを行ないます。

▲スギヤマカナヨさんによる講演

▲金澤麻由子さんと古賀涼子さんの対談

◀詳細はこちらから

【公開中】小学生ビブリオバトル・ワークショップ

2022年7月に開催した小学生ビブリオバトル・ワークショップの様子を収録した動画を作成しました。ぜひご覧ください。

▶動画はこちらから
ご視聴できます

【報告】高校生書評合戦ビブリオバトル東京都大会

東京都教育庁との共催で高校生書評合戦ビブリオバトル東京都大会を開催しました。チャンプ本に『オーデュボンの祈り』（伊坂幸太郎、新潮社）、準チャンプ本に『ボトルネック』（米澤穂信、新潮社）が選ばれ、紹介者は2023年1月開催の全国高校ビブリオバトル決勝大会（立命館大学）への出場権を得ることができました。また、大会では作家の額賀澪さんによる「青春と読書」をテーマにした講演も行ないました。

【お知らせ】「読み聞かせ＆お手紙ワークショップのノウハウを学ぶ」

絵本とお手紙ごっこ遊びの有効性について、國學院大學の鈴木みゆき教授による講演、絵本専門士による実演、絵本作家のスギヤマカナヨさんによるワークショップを開催。普及動画制作をし、1月に公開予定です。

【お知らせ】第10回高校生直木賞

直近1年間の直木賞候補作から高校生が選ぶ「高校生直木賞」、第10回を迎えるにあたり、当機構も高校生直木賞実行委員会に協力しています。全国の高等学校からの申し込みを、2023年1月12日まで受付中です。2023年５月に地方予選および本選を行ないます。

高校生直木賞
読む＋語る＋選ぶ＝深まる
http://koukouseinaoki.com/

【お知らせ】朗読指導者養成講座

アナウンサー・山根基世さんを講師に、朗読を通して地域のつながりや子どもの言葉を育てる活動の核になる朗読指導者の育成を目的とした講座を行なっています。2023年4月開講予定の第7期講座の受講生を2023年1月18日まで募集中です。別途、修了生を講師に迎え、ブラッシュアップ研修としてオンラインプログラムも開催予定です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
私たちは 持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

公益財団法人 文字・活字文化推進機構
〒101-0051　東京都千代田区神田神保町2-2-30　共同ビル神保町4F
TEL 03-3511-7305　FAX 03-5211-7285　MAIL office@mojikatsuji.or.jp
https://www.mojikatsuji.or.jp/